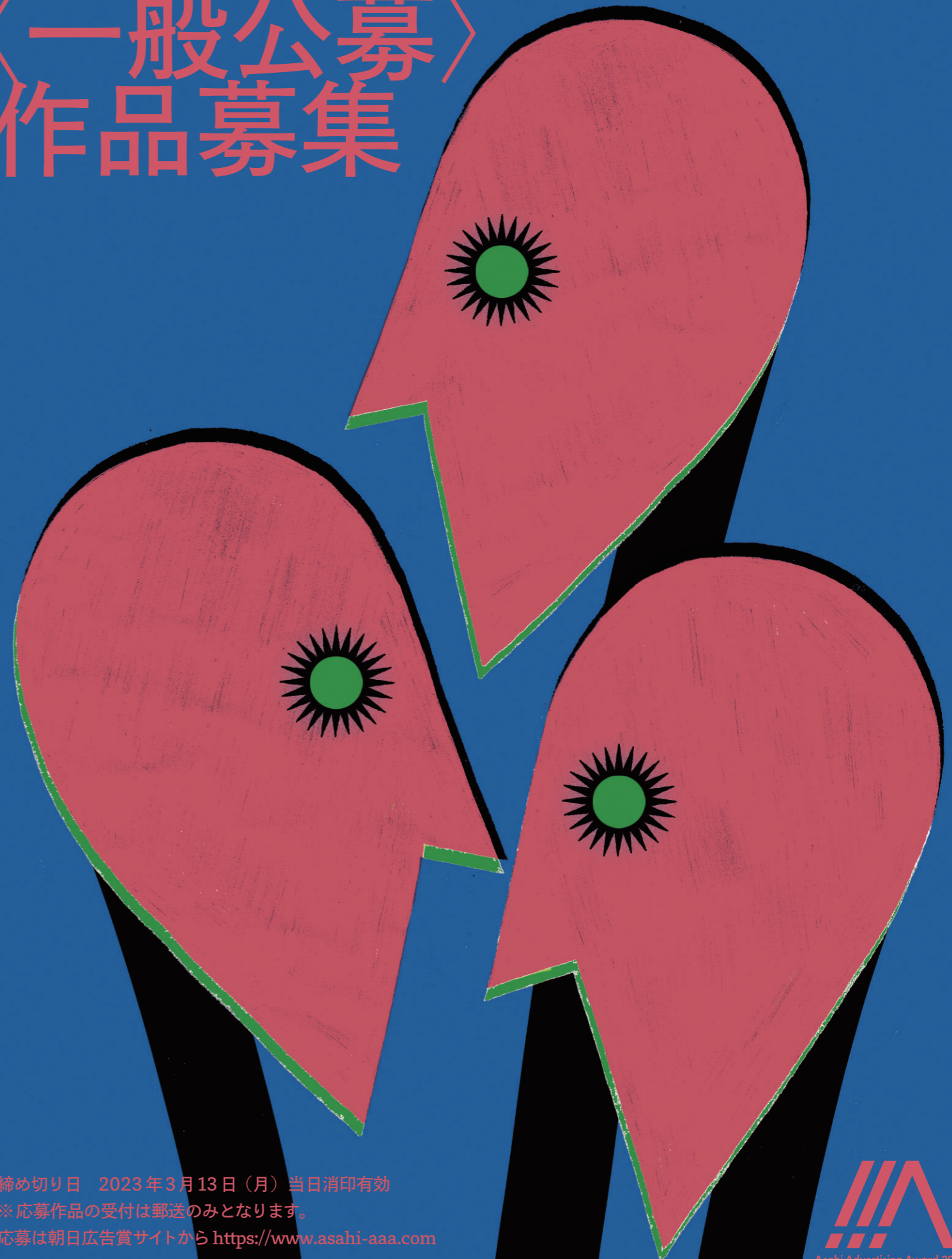
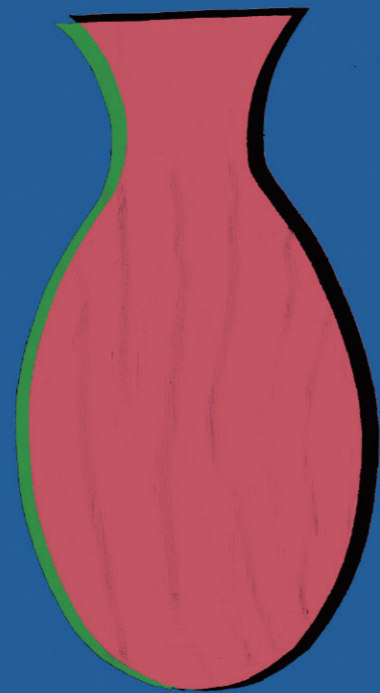


2022年度
第71回

朝日広告賞

〈一般公募〉
作品募集



応募の手引き

- STEP 1** 課題を選ぶ P3
 - 先行課題一覧発表/2022年9月下旬・朝日新聞紙上(予定)
 - 全課題一覧発表(第1回) / 2022年11月下旬・朝日新聞紙上(予定)
 - 全課題一覧発表(第2回) / 2023年2月上旬・朝日新聞紙上(予定)
 - ※朝日広告賞サイトには新聞発表の翌日から掲載予定
- STEP 2** 作品を制作する P4
- STEP 3** 応募フォームを作成する P5
 - ※応募の際、作品画像データなどのアップロードが必要
- STEP 4** 作品を送る P6
 - 作品受付期間 / 2023年3月7日(火)～13日(月)
 - 締め切り<郵送:当日消印有効 宅配:当日発送有効>
 - 審査会 / 2023年5月上旬
 - 朝日新聞読者賞 投票期間 / 2023年5月中旬
 - ※最終選考で残った入賞候補作品を朝日広告賞サイトに掲載
 - 入賞作品発表 / 2023年7月上旬・朝日新聞紙上及び朝日広告賞サイト
 - 贈呈式 / 2023年7月上旬

賞の構成

新聞広告の部

- 朝日広告賞 1点 / 賞状、賞金100万円と記念品
- 準朝日広告賞 3点 / 各賞状、賞金30万円と記念品
- 入選 10点 / 各賞状、賞金10万円と記念品
- 小型広告賞 2点 / 各賞状、賞金10万円と記念品
- 審査委員賞 2点 / 各賞状、賞金10万円と記念品
- 学生奨励賞 2点 / 各賞状、賞金10万円と記念品
- 朝日新聞読者賞 1点 / 賞状

デジタル連携の部 ※新設

- 朝日広告賞 1点 / 賞状、賞金100万円と記念品
- 準朝日広告賞 1点 / 賞状、賞金30万円と記念品
- 入選 5点 / 各賞状、賞金10万円と記念品
- 朝日新聞読者賞 1点 / 賞状

※朝日広告賞では、従来の「新聞広告の部」に加え、新たに「デジタル連携の部」を新設しました。
 詳細は朝日広告賞サイト (www.asahi-aaa.com) をご覧ください。

学生奨励賞

「学生奨励賞」は、学生を対象にした賞です。応募フォームの制作者情報で「大学生・大学院生」「専門学校生・高校生」を選択された方が対象です。

朝日新聞読者賞

朝日広告賞サイト上で、一般読者などに投票いただき、最多得票の作品に贈呈されます。



〈一般公募〉入賞者へ贈られる記念品
 「誇示する人」

「強い意志こそがパワフルな真の広告を生む。」との考えから、力を誇示する多くの人が現れることを願って、グラフィックデザイナー松永真氏がデザインした記念品。

まず、見る人の心を開くチャレンジを！

新聞は、世界や社会の今を伝えるメディアです。新聞広告もまた、記事や社説と同じように、世の中の動きを無視しては成り立たないものだと思います。それを踏まえた上で、広告主の考えをいかに効果的に伝えることができるか――。

一般公募の部の応募作品のクオリティーは、年々上がっています。実際の広告よりも、世の中の動きの捉え方が秀逸だと感じる表現にしばしば出会い、驚かされます。

また、そうした優れた作品は、見る人の心を開かせることに成功しています。

実際の広告制作の現場では、消費行動に直結するような表現をクライアントから求められることが多くなっています。しかし、何よりもまず、見る人の心を開くことができなければ、紙面は素通りされ、ましてや商品への興味、購買意欲、企業へのリスペクトなどにつなげることは難しいでしょう。

誰からも制約を受けることなく、誰も見たことがないような表現によって、人の心を開かせる。これこそが、一般公募の部のダイナミズムであり、創り手の醍醐味です。

真の意味で届く広告とはどういうものか。広告主に気づきを与えるような提案を待っています。

そして、2022年度から、新たな部門として「デジタル連携の部」が加わります。朝日新聞は早くから、SNSとの連携や、QRコードからAR動画への誘引など、新聞広告×デジタルの施策にチャレンジしてきました。こうした施策を通じて新聞広告のリーチが数値化されることで、その訴求力が再評価されるきっかけにもなっています。

「デジタル連携の部」は、学生を含めてデジタルネイティブ世代の制作者にとって、格好の腕試しの場となるのではないのでしょうか。我々審査委員が想像もつかないような、革新的なコミュニケーションデザインとの出会いに期待しています。

川口清勝

(アートディレクター 川口清勝)

〈一般公募〉審査委員(予定)

新聞広告の部担当

-  アートディレクター
浅葉克己
-  アートディレクター
葛西 薫
-  コピーライター
国井美果
-  アートディレクター
小杉 幸一
-  コピーライター
児島令子
-  グラフィックデザイナー
佐藤 卓
-  デザイナー
篠原 ともえ
-  アートディレクター
副田高行
-  写真家
瀧本 幹也

デジタル連携の部担当

-  慶應義塾大学教授
石戸奈々子
-  アーティスト
真鍋大度
-  クリエイティブテックディレクター
米澤香子

新聞広告の部・デジタル連携の部担当

-  アートディレクター
川口清勝
-  クリエイティブディレクター
筋内道彦
- 朝日新聞社 執行役員
メディアビジネス担当
神戸 久

(順不同・敬称略)

STEP 1 課題を選ぶ

課題は各参加企業から個別に出題されます。企業イメージ広告、定番商品の斬新なアピールなど、自分が挑戦してみたいテーマを選び作品を制作してください。課題は「新聞広告の部」、「デジタル連携の部」ともに共通です(課題に基づかない作品は選考外となります)。

■ 定型広告の場合

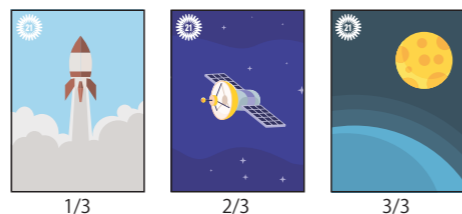
● 制作段数について

60段(新聞4ページ相当)までを上限として制作してください。全15段(1ページ)×4面、二連版30段(見開き)×2回など、上限内であればスペースをどのように活用するのも自由です。

※制作サイズの詳細は朝日広告賞サイトでご確認ください。

● シリーズ広告について

企画・提案・表現が一貫したテーマに基づく一連の作品はシリーズとして応募できます(全体で一作品と見なします)。ただしシリーズは15点以内、また全体で60段以内となるようご注意ください。



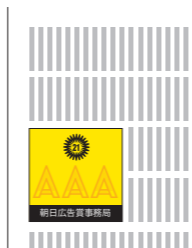
■ 小型広告の場合

ユニークな表現に適した小型広告によるシリーズ展開は、クリエイターの腕とアイデアの見せどころ。ぜひ小型広告にもチャレンジしてください。

小型広告はシリーズで応募してください(2点以上31点以内)。

定型広告を1点でも含む場合は定型広告扱いとなります。

※制作サイズの詳細は朝日広告賞サイトでご確認ください。



■ 資料および素材のダウンロード

広告主から提供されている課題資料・素材は、朝日広告賞サイトからダウンロードすることができます。

www.asahi-aaa.com

2021年度 第70回 朝日広告賞受賞者から

“朝日広告賞らしさ”にとらわれない

朝日広告賞に限らず、広告コンペでは“そのコンペらしさ”にとらわれて、アウトプットの幅が狭くなってしまいがちです。

広告を取り巻く環境は日々変わり続けていますが、新聞広告も紙面上で完結せず、SNSでの拡散まで含めて生活者にリーチしていく時代です。

従来の新聞広告らしさ、新聞広告賞らしさは転換期を迎えていると思いますし、そのひとつの表れとして僕たちの小型広告アイデアがグランプリをいただけたのだと思います。

もちろん過去受賞作の分析はしっかり行なった上で、あまりこのコンペにふさわしいアイデアかどうかで頭を固くせず、課題ブランドにふさわしい佇まいのアイデアは何か?その作品が実際に掲載されたら世の中にどんなさざなみを起こせるのか?といった本質的な部分を突き詰めることが大切なのだと思います。僕たちもみなさんに負けないように頑張ります。

※この「第71回 朝日広告賞作品募集」表紙および告知ポスターなどのデザインは岡田江里菜さんが担当しました



朝日広告賞
株式会社トンボ鉛筆による課題作品
(TOMBOWの文具のブランド広告)4点シリーズ

株式会社博報堂
根本峻佑さん
東京大学大学院
中村 遼さん
多摩美術大学大学院
岡田江里菜さん

STEP 2 作品を制作する

評価にあたっては、独創性が最優先されます。

これまでにないアイデアや表現を生かしたオリジナリティのある広告提案をお待ちしています。また、新設された「新聞広告とデジタルとの連携作品」にもチャレンジしてみてください。

新聞広告の部

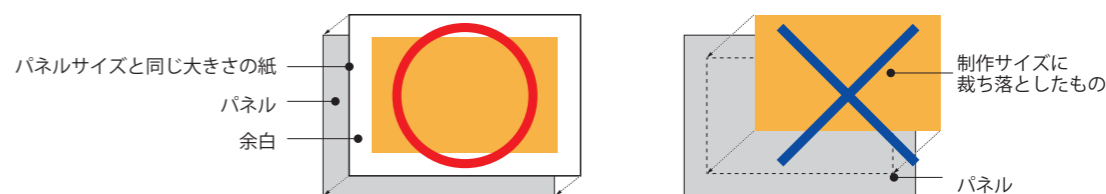
■ パネル貼りについて

● 応募作品は必ずパネルに貼り付けて提出してください。

パネルサイズは、二連版の作品はA1判、全15段以下の作品はA2判に統一とします。

● パネルに色や文字の指定のみが書かれ、テキストや画像が別添となっている作品、およびパネル裏面にまで表現が及ぶ作品は選考外となります。

● 作品は、パネルと同じ大きさになるよう余白を設け、たるみや剥離(はくり)のないよう注意してパネルに貼り付けてください。ビニールフィルム等をパネルに貼ることは審査の妨げとなるためご注意ください。



● パネルの色や材質は自由ですが、なるべく軽い素材のものをご使用ください。市販のスチレンボードやハレパネ等を使用されるケースが一般的です。

● 小型広告の応募作品は、シリーズ全点を1枚のパネルに収めてください。

※「制作サイズ」は朝日広告賞サイト(www.asahi-aaa.com)でご確認ください。

デジタル連携の部

■ コンセプトシートについて

● 「デジタル連携の部」への応募には、上記の新聞広告作品(パネル貼りで提出)に加え、「コンセプトシート」の提出が必要です。コンセプトシートは、朝日広告賞サイトからダウンロードできます。専用応募フォームから作品画像と合わせアップロードしてください。

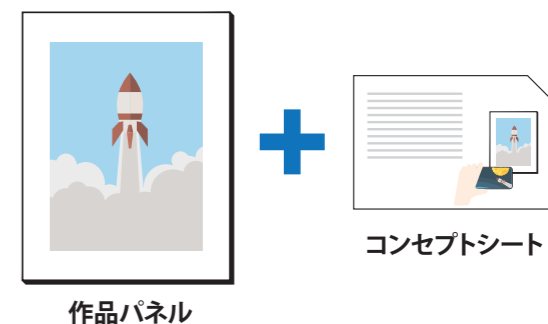
● コンセプトシートには、規定に沿って課題広告主名や作品タイトル、デジタルとの連携を説明したコンセプトを明記してください。

● 個人が特定されるようなお名前や所属する会社名、学校名などは記入しないようにお願いします。

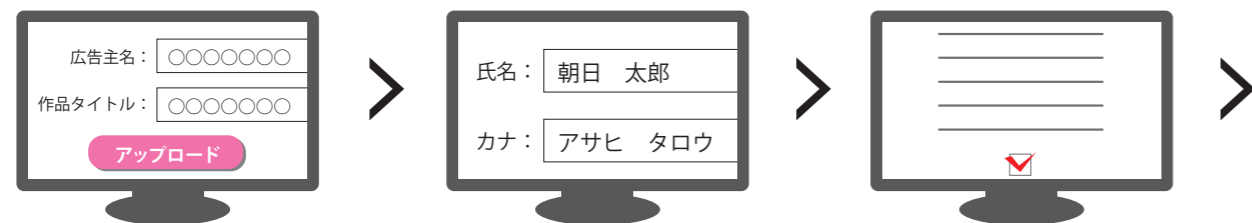
● コンセプトの表現は自由ですが、アイデアは説明文だけでなく、できるだけ図やイラスト・写真など具体的なイメージで表現してください。

● コンセプトを説明するための補足として必要であれば、動画などをアップロードしたサイトの参照URL(要ハイパーリンク)の提出も可能とします。

※ただし、審査期間(2023年3月中旬～5月31日)にアクセス可能なことが条件です。



STEP 3 応募フォームを作成する



作品データをアップロード

応募する課題の広告主名、シリーズ作品が単独作品かなどを選択し、作品タイトルを記入。作品データをアップロード

「制作者情報」を入力

住所、氏名、電話番号、勤務先・学校名などを記入。チームで応募する場合は代表者の情報のみを記入

「応募事前チェック」を確認

著作権など、必要な権利処理についてのセルフチェック。応募規約に同意した後、記入内容を最終確認

朝日広告賞〈一般公募〉の応募は、朝日広告賞サイト上の専用応募フォームをご使用ください。

www.asahi-aaa.com

- 応募フォームに記入していただくことで、作品に使用した素材(写真・イラストなど)について権利者の許諾や確認の必要なポイントを自分でチェックすることができます。
- 応募フォームは、必須事項をすべて記入またはチェックをしない限り登録(送信)できない仕様となっています。送信できない場合は、記入漏れがないかご確認ください。

■ データアップロードについて

作品データの提出も必須です(デジタル連携の部に応募する作品はコンセプトシートとのデータ提出も必要です)。アップロードするデータは以下の規格にてお願いします。

- ・新聞広告作品 = JPGまたはPNGとし、1画像について5MB以内に収めてください。
- ・コンセプトシート = 5MB以内のPDFファイルに収めてください。

※動画(任意)はアップロードできません。動画の提出はコンセプトシートの指定欄にリンクするURLをご記入ください。

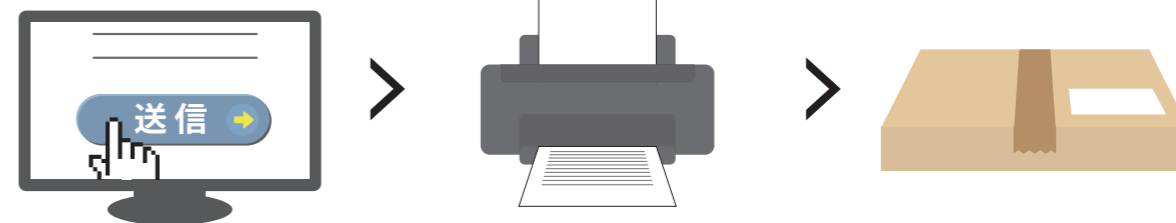
重要 朝日広告賞では、下記のような作品は選考・入賞の対象となりません。

- ① 応募者が他のコンテスト等に応募・出品中のものと同一・類似の作品。
- ② 他者の著作物を模倣、転写したものなど、応募者独自の創作性が認められない作品。その他、独創性を重視する朝日広告賞の趣旨に合わない作品。
- ③ 他者の著作権、著作人権、商標権、肖像権、パブリシティ権、名誉・プライバシーその他の権利を侵害する作品。その他、法令等に反する内容を含む作品。
- ④ 社会通念上、公序良俗に反する内容を含むなど広告として不適切な作品。

作品の取り扱い

- 応募いただいたパネル作品の所有権は朝日新聞社に帰属します。作品は、制作者(応募者)に返却されません。
- 入賞作品の著作権(著作権法21条から26条までに定める権利)は朝日新聞社に帰属します。入賞作品は、朝日新聞社が制作、発行または運営する媒体(『朝日新聞』『朝日広告賞入賞作品集』、朝日広告賞の案内パンフレットその他の発行物や、『朝日広告賞サイト』、メディアビジネス局ウェブサイト等のインターネットサービスを含みます)で掲載、入賞作品展示等で展示をすることがあります。また、朝日広告賞の紹介、宣伝のために、他社の媒体で掲載、利用されることがあります。
- 入賞候補作は、入賞が内定する前に『朝日広告賞サイト』で掲載し、朝日新聞読者賞の投票を実施します。その際、課題広告主名、作品名と作品画像を掲載しますが、制作者の名前は入りません。
- 入賞作品の掲載面を含む朝日新聞紙面は、朝日新聞社による縮刷版及び電子縮刷版などの電子メディア・サービスにも使用されます。
- 応募作品(デジタルデータを含む)はその作品の課題を提供した参加広告主に開示され、参加広告主が展示等を行うことがあります。
- 入賞作品について、応募者ご自身が個展への出品やウェブサイト・刊行物その他媒体への掲載等を行う場合、朝日新聞社から事前に承諾を得ていただく必要があります。また、実際の広告として利用する場合も、事前に相談してください。

STEP 4 作品を送る



応募フォームを送信!

- ① 応募フォームを送信することで応募登録されます
- ② 登録後、返信メールが届き、メール添付のURLにアクセスするとあなたの応募票PDFが表示されます

プリントアウト

応募票PDFをA4サイズでプリントしてください

送る

応募票をパネル裏面に貼り付け、下記の受付期間内に宅配または郵便にてお送りください

■ 応募票について

- 応募票はA4サイズにプリントアウトし、票内の指示にしたがって、はがれないようにパネル裏面の中央に貼り付けてください。シリーズ作品の場合は**パネル1枚ごと**に応募票のコピーを貼ってください。
- 「デジタル連携の部」に応募のコンセプトシートは、プリントアウトする必要はありません。
- 入賞者への連絡は応募票に記入された情報をもとに行います。間違いのないよう、正確に記入してください。なお、送信後の内容変更はできません。間違いや変更がある場合は、再度応募フォームから作成し、正しいものを送信し直してください。



パネル裏面

■ 作品応募と締め切り

作品の受付は、郵送もしくは宅配のみとなります。受付期間は**2023年3月7日(火)から3月13日(月)**

- ・作品は下記のあて先へ郵便または宅配にてお送りください。送料は応募者のご負担となります。

あて先

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
朝日新聞東京本社 総合プロデュース本部 朝日広告賞事務局

朝日広告賞入賞作品集のご案内

■ 購入方法

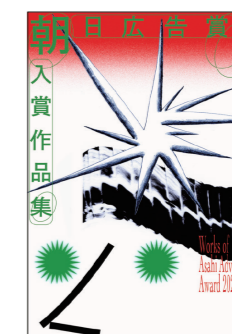
朝日新聞SHOP (<https://shop.asahi.com>) からお申し込みください。

※朝日広告賞入賞作品集は以下の書店でもお求めになれます。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 教文館(銀座) | 八重洲ブックセンター(東京駅前) |
| 三省堂書店(神田神保町) | 有隣堂(アトレ恵比寿) |
| ジュンク堂書店(池袋、大阪・堂島) | |
| 銀座堂書店(朝日新聞東京本社内) | |

■ 問い合わせ先

朝日広告賞サイトにある「お問い合わせフォーム」をご利用ください。



2021年度全入賞作品を収録。
B5判122ページ 頒価2,300円